

鹿ノ井出水のいわれ



太田南地区の数ある出水の中で、最も大きくどんな干ばつでも枯れたことがないという。保安3年(1122)の大干ばつとき、伏石の居石神社に現れた白髪、白鬚の老人が鹿となってこの地に到り、泉を掘り当てて人々を救ったという「伝説の泉」でもある。以来、人々はこの泉を「鹿の泉」として大切に、長く伏石・太田の田を潤してきた。

鹿ノ井出水は、1998年度魅力ある農村づくり事業の一環で176mの区間を石積み護岸し、遊歩道や休憩所が整備された。サンフラワー通りから一步入れば、桜並木が続き、静かで趣のある小川が流れる水辺の公園である。地下水なので水はきれいで、夏は冷たく冬は温かい。鯉やメダカなども泳いでおり、子供たちの格好の水遊び場である。ぜひ、一年を通して訪れてほしい。

水神さんのいわれ



鹿ノ井出水の傍らに水神さんが祀られており、「昭和六年一月居石家建之」の記録がある。平成27年(2015)に、日本の水の宗社で水一切を司る神として名高い、奈良県東吉野村にある「丹生川上神社」(中社)より分霊・合祀されている。毎年、居石神社氏子により水神祭が行われている。

鹿ノ井出水の風景

春の桜まつり



夏の緑陰



秋の紅葉



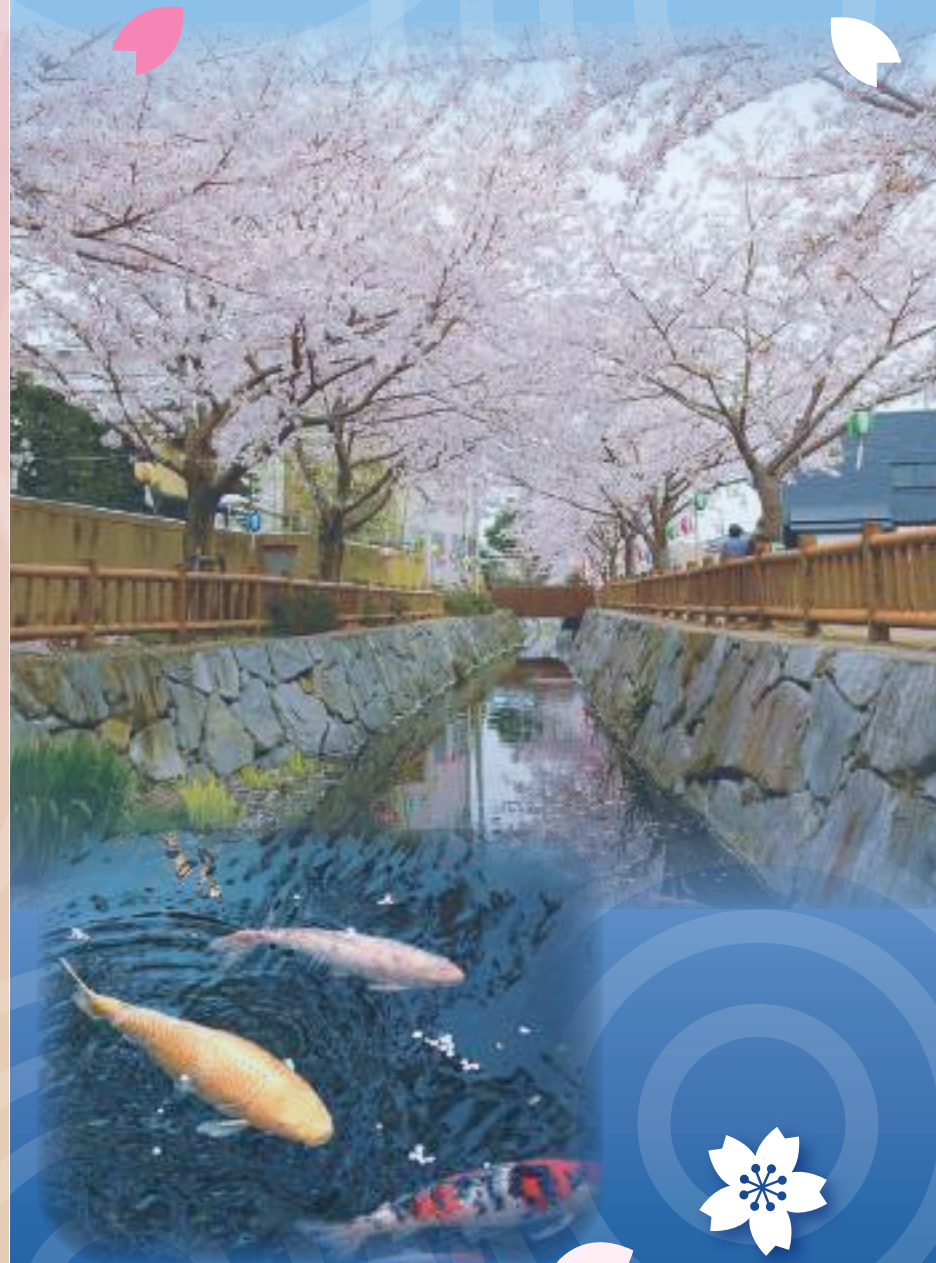
鹿ノ井桜まつり 毎年4月第1日曜日

水神祭 毎年6月中旬

■ 問合せ先：太田南コミュニティセンター
(太田郷土史誌研究会)
TEL/087-865-9947

■ 発行日：2017年12月
第二版発行：2018年12月

鹿ノ井出水



太田観光協会
太田郷土史誌研究会